

第14回 埼玉アスレチック・リハビリテーション研究会のご案内

謹啓 立秋の候、先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
昨年に引き続き、第14回埼玉アスレチック・リハビリテーション研究会を下記のように開催いたします。
今年も多くのご関係職種の方々にご参加いただき、闊達な討論の場になることを期待しております。
皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

敬具

第14回埼玉アスレチック・リハビリテーション研究会会長 星川 淳人 先生
(埼玉医科大学総合医療センター整形外科)

1. 日時 令和元年10月19日(土) 14:30～
2. 会場 埼玉医科大学かわごえクリニック 6階 大会議室(埼玉県川越市脇田本町21-7 TEL:049-238-8111)
(JR埼京線「川越」駅下車 徒歩3分、東武東上線「川越」駅下車 徒歩3分、西武新宿線「本川越」駅下車 徒歩10分)
会場駐車場は診療時間中のため患者様専用となっております。出来るだけ公共交通機関のご利用をお願い致します。
お車でお越しの際は近隣のコインパーキングのご利用をお願い致します。

3. 内容

14:30～14:35 【開会の辞】 第14回研究会会長 星川 淳人

14:35～16:00 【シンポジウム】

テーマ:「2020年東京五輪に向けた代表選手へのサポート」

- ①『東京2020に向けての国立スポーツ科学センターにおけるトップアスリートへのサポート』高嶋直美先生
国立スポーツ科学センター スポーツメディカルセンター 理学療法士 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
- ②『ハイパフォーマンスジムにおけるサポート』高橋佐江子先生 国立スポーツ科学センター
ハイパフォーマンスジム 理学療法士 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 障がい者スポーツトレーナー
- ③『栄養サポートの実際』亀井 明子先生 国立スポーツ科学センター スポーツメディカルセンター
栄養グループ公認スポーツ栄養士、管理栄養士
- ④『東京2020大会に向けてのメンタル面の対策～研究とサポートについて～』立谷 泰久先生
国立スポーツ科学センター スポーツメディカルセンター 心理グループ
日本スポーツ心理学会認定スポーツメンタルトレーニング上級指導士

16:10～16:50【一般演題】

1. セルフマッサージ効果とその生体内メカニズムに関する検討 早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科 吉村茜
2. 異なる運動様式における股関節伸展筋の貢献度の違い 早稲田大学 西海大地
3. 学童期におけるオスグッド病発生状況と身体的特徴 埼玉医科大学総合医療センター 岡本晴香
4. わが国のトップアスリートの関節弛緩性と筋タイトネス
-国立スポーツ科学センターにおける10年間のメディカルチェックの分析から- 星川淳人 高橋佐江子 高嶋直美

17:00～18:00【特別講演】

題名『膝前十字靭帯損傷の発生シナリオに基づく新たな視点での予防戦略』

演者 小笠原一生 先生(大阪大学大学院医学系研究科健康スポーツ科学講座運動制御学 助教)

18:00～18:10 閉会挨拶 福林徹 先生 東京有明医療大学 保健医療学部 柔道整復学科 特任教授
2020東京五輪ゴルフ競技(川越開催)について

4. 参加費 一般 3,000円 学生 1,000円
5. 定員 200名 (会場の座席数が限られておりますのでご了承下さい)
6. 認定単位

日本整形外科学会教育研修会 1単位 分野番号[2][13]又は[S]スポーツ医
日医認定健康スポーツ医学再研修会 1単位

※日本整形外科学会研修単位取得希望の先生は、受講費1,000円を徴収させていただきます。

7. 参加申し込み方法

右のQRコードまたは下記URLから項目に従ってご回答下さい。

<https://forms.gle/1s2r6eqHA5g9wByx9>

締め切りは令和元年10月12日(土)です。

<後援> 埼玉県整形外科医会、埼玉県健康スポーツ医会、埼玉県スポーツ協会、埼玉県理学療法士会
事務局:埼玉医科大学かわごえクリニックリハビリテーション科 担当 名塚 健史
TEL: 049-238-8292 FAX: 049-238-8273 E-mail: kcreha@saitama-med.ac.jp

